

全日制の課程

I 外国語(英語) 正答表並びに採点上の注意 (令和8年度)

問1	(ア)	No. 1	1	3点
		No. 2	2	3点
		No. 3	1	3点
	(イ)	No. 1	4	3点
		No. 2	3	3点
	(ウ)	No. 1	4	3点
		No. 2	3	3点

問2	(ア)	2	2点
	(イ)	1	2点
	(ウ)	2	2点

問3	(ア)	3	2点
	(イ)	1	2点
	(ウ)	4	2点
	(エ)	3	2点
	(オ)	3	2点
	(カ)	2	2点

問4	(ア)	3番目	6	両方 できて 3点
		5番目	3	
	(イ)	3番目	5	両方 できて 3点
		5番目	4	
	(ウ)	3番目	2	両方 できて 3点
		5番目	6	
	(エ)	3番目	4	両方 できて 3点
		5番目	1	
	(オ)	3番目	2	両方 できて 3点
		5番目	3	

問5	[How long has he lived in Japan]?	5点
----	-------------------------------------	----

問5は正答例。

採点上の注意

【問題全般について】

- 中間点は、問5以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。

【中間点のある記述問題について】

- 問5について

- 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、**得点項目A**の条件を満たすならば、正答として5点を与える。
- 内容については、中間点を設けないこと。

指定語は **lived** と **long** である。

得点項目A TomがMoeに、Mr. Smithがどのくらい長く日本国内に住んでいるかを尋ねていると読みとれること。

[誤答とする場合]

- 文法・語法上の誤りがあるために、英文として成り立っておらず、文全体の内容理解に明らかに支障がある場合。（必要な主語や動詞がない等の文構造上の誤り、語順の誤り等）
- 英文として成り立っているが、文脈に適さない場合。
- 指定語を使用していない場合。
- 語数の条件を満たしていない場合。
- 2文以上で書かれている場合。

[減点とする場合]

- 文全体の内容理解に支障がないと判断できるが、文法・語法上の誤り（冠詞に係る誤り等）、指定語を含めた綴り字の誤りや大文字・小文字の誤り、符号（, / . / ? / ! 等）に係る誤り（符号の不適切な使用や脱落）がある場合については、その数にかかわらず2点減点とする。したがって、中間点は3点となる。